

告示	番号	97	慢性心疾患
	疾病名	両大血管左室起始症	

両大血管左室起始症

りょうだいいっかんさしつぎししょう

概念・定義

肺動脈と大動脈の両大血管ともに左室から起始している先天性心疾患。大動脈弁、肺動脈弁は三尖弁と線維性結合がないのが普通である。心室中隔欠損が存在する。心室中隔欠損は大動脈弁下に存在することが多い。肺動脈狭窄を合併することが多く、その場合には肺血流が減少しチアノーゼを呈する。肺動脈狭窄のない例では、肺血流は増加して肺高血圧を生じる。心内修復術には Rastelli 手術、右室流出路形成術、心内修復術、Fontan 型手術などが行われる。手術形式によるが、重症な疾患で、予後不良なことも多い。

症状

新生児期よりチアノーゼ、心不全を認める

治療

根治術には Rastelli 手術、右室流出路形成術、心内修復術、Fontan 型手術などが行われる

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_34_43.html